



HPを
チェック

他のニュースも、ホームページで随時更新中！

ぽらーのNEWS トピックス

日頃の感謝を込めて 各支店で「支店感謝デー」

J Aでは日頃の感謝を込めて、各支店で支店感謝デーを設けています。
笹間・太田支店（花巻市北笹間）では6月16日、伊藤ケイ子さん（花巻市南笹間）が育てたペチュニアやナス、タウム、ミニヒマワリの苗を、感謝の言葉とともに来店客にプレゼントしました。佐々木勝弘支店長は「イベントを通じて感謝を伝えるとともに、J Aを知ってもらう機会にしたい」と話しました。



笑顔で花苗を手渡すJ A職員

摘果のポイントを1から学び りんごビギナー講習会を開催

果樹部会は6月15日、りんご栽培を始めたばかりの農家や若手・女性農家などを対象とした「りんごビギナー講習会」を開き、38人が参加しました。
J Aが「農の匠」を委嘱する伊藤益士さん（花巻市十二丁目）が講師を務め、今の時期最も重要な作業「摘果」の目的や方法を、実演を交えて説明しました。参加者は、実だけではなく木全体を観察することの重要性を学びました。



摘果について説明する伊藤さん(右)

事故受付対応が高い評価 J A共済連から感謝状

J A共済連では、自動車共済の事故受付対応において高い評価を得た全国上位100 J Aに感謝状を贈呈し、当J Aは3年連続のランクインとなりました。
6月17日にはJ A共済連若手自動車損害調査部の中澤裕介部長がJ A本店を訪れ、高橋利光組合長に感謝状を手渡ししました。高橋組合長は「共済契約者の皆さまに感謝し、今後もご満足いただけるサービスを提供したい」と話しました。



感謝状を贈呈した中澤部長(右)と受け取った高橋組合長

安心・安全な野菜を全国へ！ 令和8年度野菜出荷式

J Aと野菜部会は6月18日、石鳥谷園芸センター（花巻市石鳥谷町）で令和8年度野菜出荷式を開き、関係者によるテープカットの後、野菜を積み込んだトラックの出発を見送りました。
中野陽部会長は「生産者一同力を合わせ、安心・安全な野菜を届けていく。多くの人に堪能してほしい」とあいさつしました。今年度は販売数量4169t、販売額17億8200万円を目指します。



テープカットを行い出荷を祝う関係者

自分だけの寄せ植え楽しんで 女性部コンテナガーデン講習会

女性部花巻地域支部は6月10日、（有岩手園芸（花巻市高木）でコンテナガーデン講習会を開き、午前・午後の部を合わせて46人が参加しました。
同社の佐藤巧社長が講師を務め、水やりや刈り込みのポイントを説明し「自分の感性に沿って楽しんでほしい」と伝えました。6種類の花を選んだ部員たちは、配置を相談しながら、自分だけの寄せ植え作りを楽しんでいました。



選んだ花苗をコンテナに植える部員たち

安全作業への意識向上はかる 職員対象にフォークリフト研修会

J Aは6月3日と4日、花巻園芸センター（花巻市太田）でフォークリフトの免許を所持する職員を対象とした研修会を実施し、約150人が受講しました。
始業前点検の手順の他、フォークリフトを操縦し、後方確認やフォークの出し入れなどを確認しました。千葉秀彦営農担当常務は「安全作業は自分、周り、地域を守ることに繋がる。初心を忘れず仕事にあたってほしい」と話しました。



フォークリフトを操縦し、手順を確認する職員

分げつ期以降の管理を確認 管内各地で水稲講習会

J Aは6月中旬、管内各地で水稲の栽培講習会を開き、水管理や防除の注意点を確認しました。
6月は分げつ期にあたるため、圃場のガス湧きに注意し、必要に応じて水の入れ替えを行うことや、薬剤を適期に使用して雑草防除を行うよう説明しました。また、中干し期間の目安や、幼穂形成期から減数分裂期の水管理の注意点を確認しました。



管理の注意点を伝えるJ A職員(6月16日、大迫町支店にて)

病害虫への注意呼び掛け ネギ現地講習会

J Aと県中部農業改良普及センターは6月22日、花巻市と北上市の3会場でネギの現地講習会を開きました。
菅原いずみさん（花巻市石鳥谷町）の圃場で行われた講習会では、同センターの職員が講師を務め、土寄せの注意点や梅雨時期に発生が懸念される病害虫への対策について説明しました。虫の発生を抑えることが病気の予防にも繋がることとして、早期の防除を呼び掛けました。



生育を確認する参加者たち